

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立古市小	学校	児童数	65
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.29	15.07	30.82	33.61	34.57	9.86	139.43	19.79	45.04
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	15.59	15.06	37.51	33.46	30.92	9.80	141.35	13.78	44.90
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

- 体力合計点は、男子が42.4点で全国より7.6点低く、大阪市より6.1点低かった。女子が44.9点で全国より5.1点、大阪市より3.2点低かった。
- 「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況は、「好き」と回答した男子の割合が75.0%で全国より5.2%、大阪市より5.1%高かった。女子の割合は40.5%で全国より14.4%、大阪市より12.3%低かった。
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子が14.3%（学校）全国（8.8%）、大阪市（11.6%）であった。女子は10.8%（学校）、14.6%（全国）、17.5%（大阪市）であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

校内の取り組みではソフトボール投げの記録を伸ばすために、運動場に的を設置し、休み時間もボール投げをして遊ぶことができるようにした。その結果、女子のソフトボール投げの結果は上昇した。しかし、男女ともにどの種目も結果は全国平均や大阪市平均より大幅に低下している。その要因として考えられることは、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が全国や大阪市よりも多いことである。「運動やスポーツが好き」と肯定的に回答する児童が多いにも関わらず、運動量が少ないことが大きな課題である。

特に20mシャトルランの平均回数は、全国平均よりも著しく低下している。冬季期間中は、駆け足タイムを実施しているが、持久力の向上には一時的なもので定着しにくい。週に2～3回の体育科の学習では十分な運動量が確保できない。

本校の今後の課題は、体育科の授業以外に運動能力を向上できるように、休み時間を利用した走力を向上できる遊びを取り入れ、コロナ禍で低下した体力・運動能力を取り戻すことが急務である。